

資本主義

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

資本主義は、全てを貨幣に転換する。これらは必ず哲学的考察を要求するものとする。

これらは利益という正義が存在するのである。他方においては西洋の社会倫理的な社会への責任と分配という現実がこれらを支えるのである。

また富の占有における世界の支配という現実も、これら資本主義ものと存在する。

今日における技術革命は、企業や資本家における巨大資本が、完全に経済の支配する現実を与えるのである。

これら現実もさらなる未来を有するのである。社会活動化の正義は一つの真実とした正しいのである。

資本主義は、欲望という現実であることは、正しいのである。これらに対峙するのは、イマジンというジョンレノンの歌である。

富の競争が、競争原理である。また自由経済システムは、その守護者である。

これら社会システムは必ず誤りを有する。この全てを貨幣に転換するシステムは、欲望という原動力と現実を与える誤りなのである。

この貨幣経済は、新しい現実を今日有する。エリートたちの世界の独占である。

共産主義が、新世界秩序における未来の理想であることはこれにおいて皮肉である。